箱　田　上　境　遺　跡

民間開発（宅地造成工事）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2001

前橋市教育委員会

例　言

1．本報告書は、民間宅地造成工事に伴う箱田上境遺跡（はこだかみざかいいせき）発掘調査報告書である。

2．本遺跡は、前橋市箱田町７１８－１地に所在する。
3．発掘調査は、前橋市教育委員会が実施した。
4．発掘・整理担当者及び調査期間は次のとおりである。
　発掘担当者　高山　剛、鈴木雅浩
　整理担当者　高山　剛、鈴木雅浩
5．発掘調査期間　平成 13 年 10 月 9 日～平成 13 年 10 月 15 日
6．調査面積　　486 ㎡
7．本書の原稿執筆編集は高山、鈴木が行った。
8．調査、整理にあたっては、内藤　孝、赤城美代子、栗原エミ子、生形かほる、佐野貴恵子、柴崎まさ子、戸丸澄江、船津明美、松田富美子のご協力を得た。（順不同）

凡　例

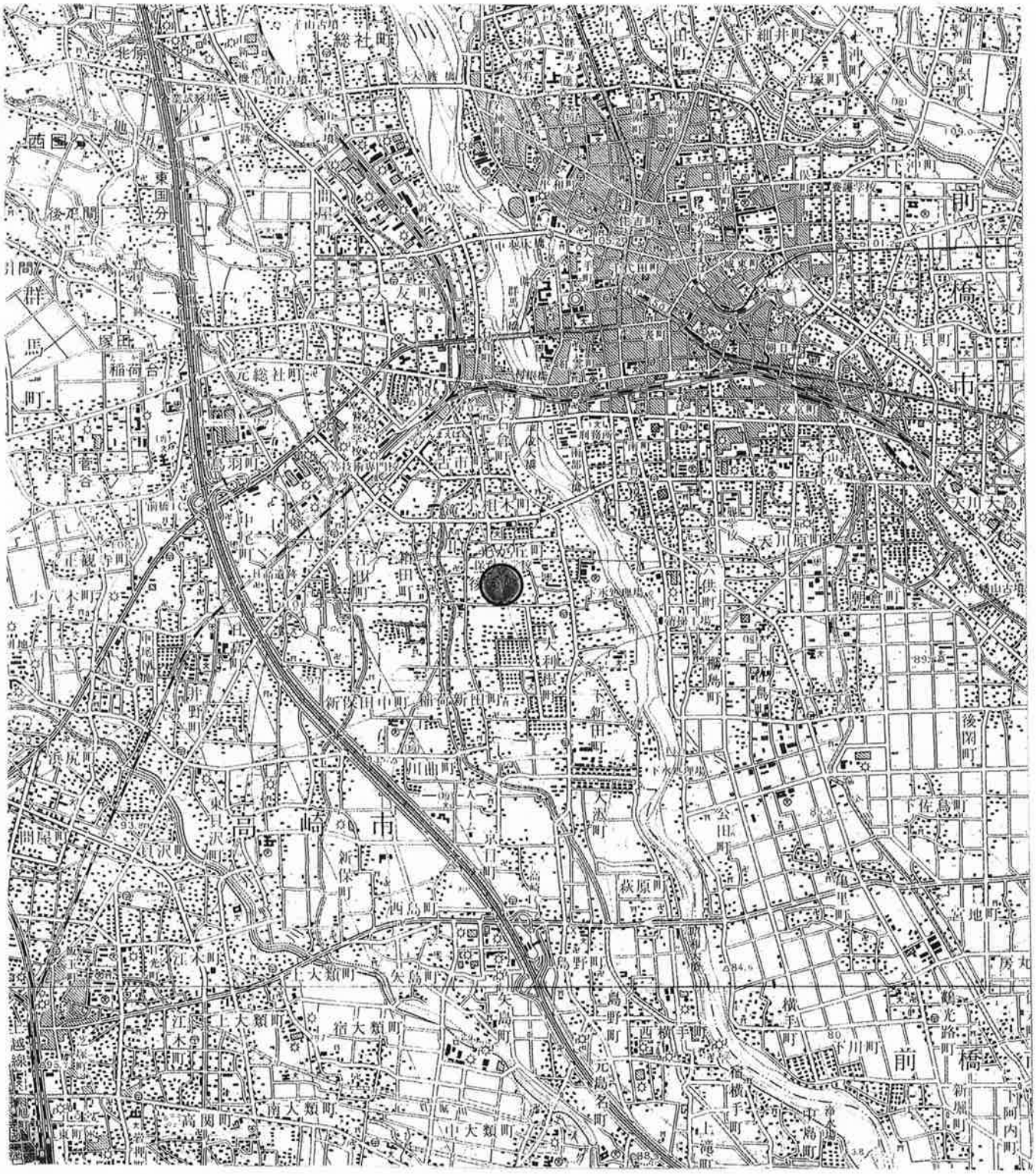
1．挿図中に使用した北は、座標北である。
2．挿図には建設省国土地理院発行の 1/50,000・1/25,000 地形図を使用している。
3．本古墳の略称は 13A109 である。
4．トレンチ実測図の縮尺は断面図 1/40 である。

箱田上境遺跡

民間開発（宅地造成工事）に伴う埋蔵文化財発掘調査

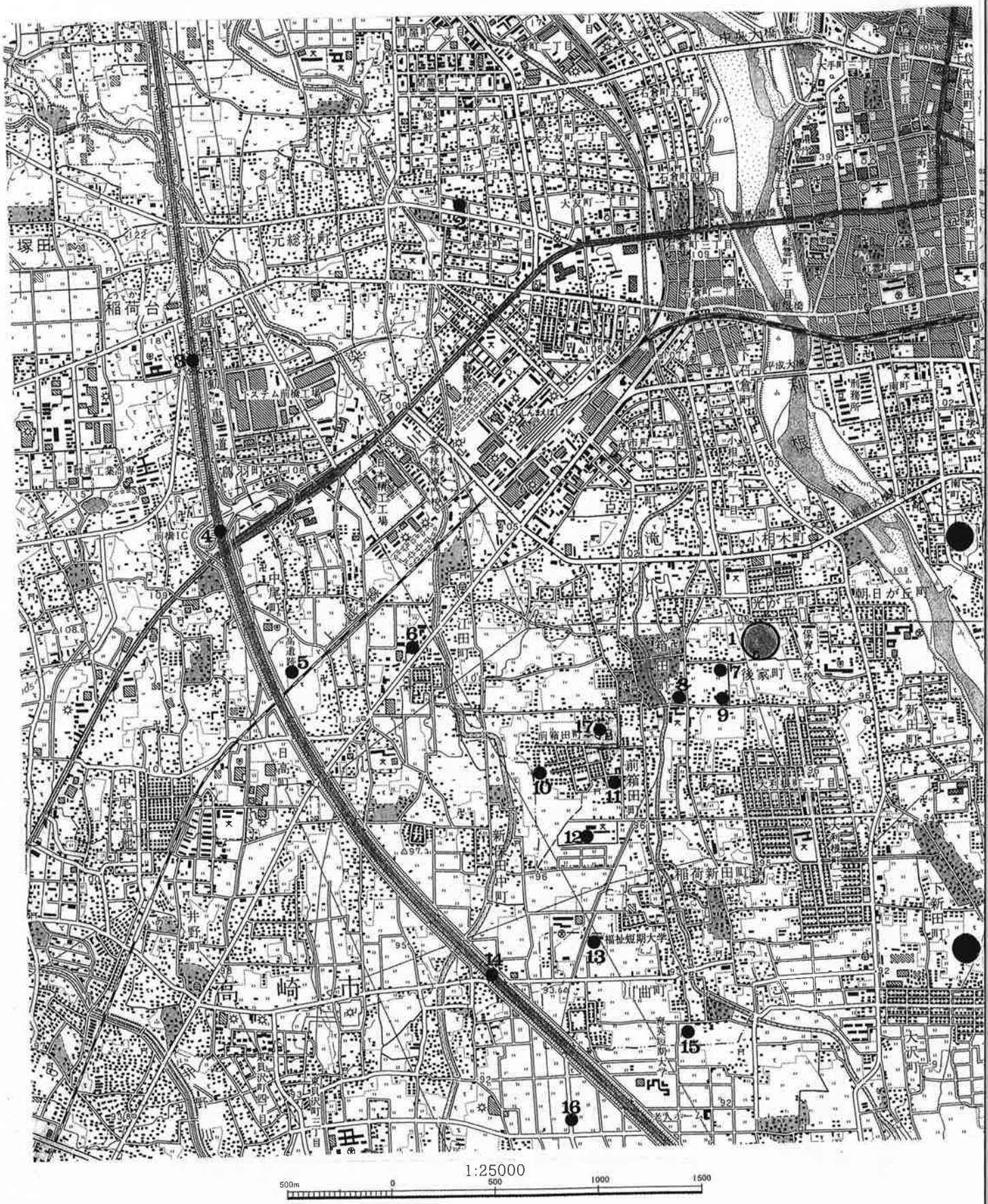
はじめに

本書は宅地造成に伴い、前橋市教育委員会が事業者（有限会社　三光企画）の協力を得て実施した埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。



1:50000

Fig. 1　箱田上境遺跡位置図



1　箱田上境遺跡　2　元総社明神遺跡　3　鳥羽遺跡　4　中尾遺跡
5　日高遺跡　6　勝呂遺跡　7　五反田遺跡　8　村前遺跡
9　五反田Ⅱ遺跡　10　箱田境遺跡　11　稲荷遺跡　12　前箱田遺跡
13　柳橋遺跡　14　神保遺跡　15　川曲毘沙門前遺跡　16　西島遺跡
17　前箱田村西Ⅱ遺跡

Fig. 2　位置図と周辺遺跡図

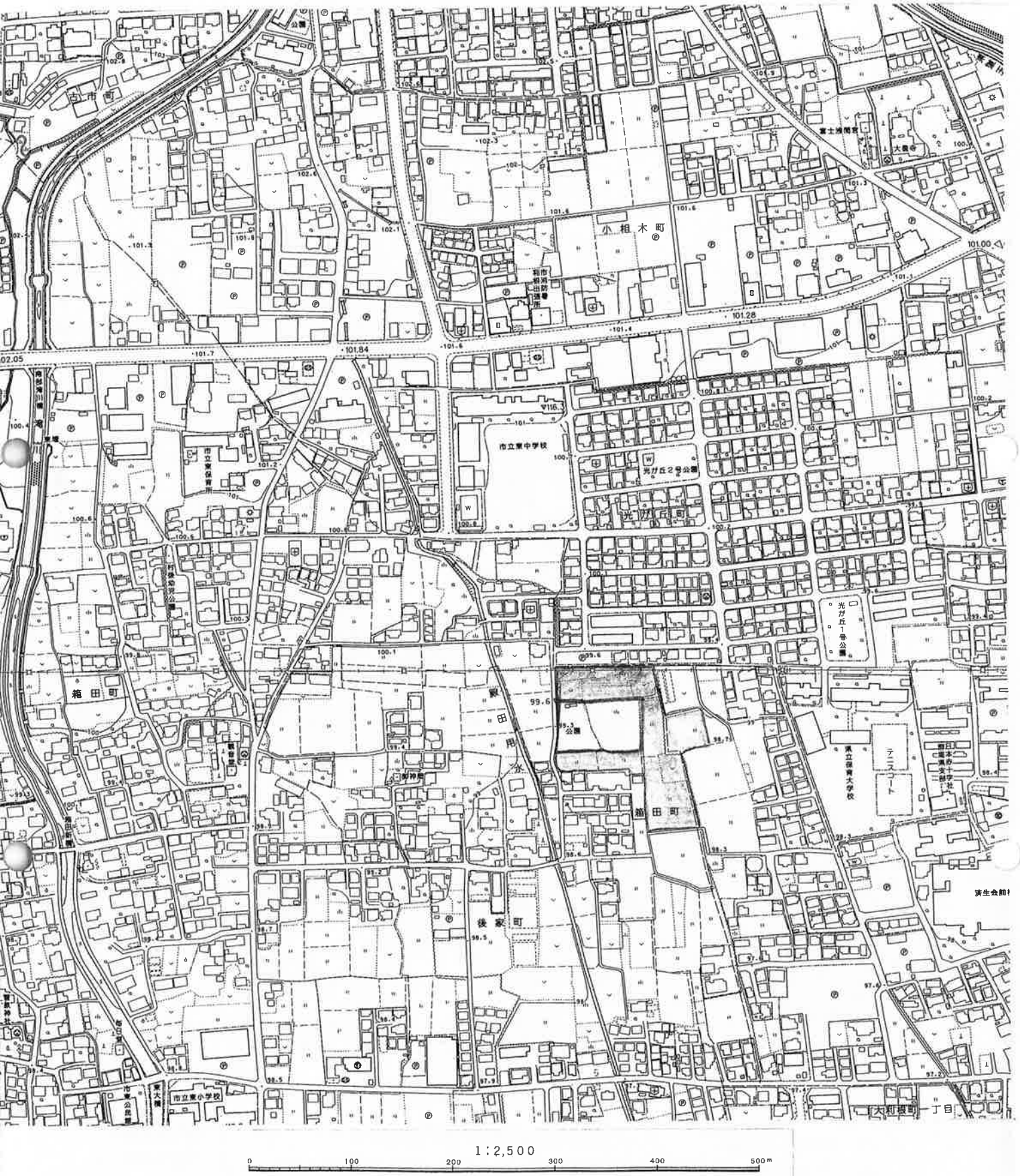

古市町
小相木町
富士浅間宮
大義寺
市立東中学校
光が丘2号公園
光が丘町
光が丘1号公園
箱田町
駅田用水
公園
テニスコート
東立保育大学校
後家町
市立東小学校
大利根町一丁目
1:2,500
0
100
200
300
400
500m

Fig. 3 調査区周辺図

調 査 概 要 報 告

本遺跡地は利根川右岸の前橋台地上に位置する。開発事業者の確認調査依頼を平成13年1月に受理し、平成13年1月24日～1月26日に試掘調査を実施した。その結果、平安時代の水田遺構面と10本の水田畦畔が確認されたため、教育委員会と開発事業者で協議し、平成13年10月9日～10月16日にかけて本発掘調査を実施した。

調査は、新設道路予定地の中で比較的残存状況の良い畦畔を中心に、その周囲を約5m四方に掘削範囲を広げて行った。今回計測したものは、6号トレンチ南側で確認した東西方向の畦畔3本、9号トレンチ中央部で確認した南北方向の畦畔1本、10号トレンチで確認した南北方向の畦畔1本の合計5本の畦畔であった。なお、3号トレンチでも試掘調査の段階で南北方向に2本の畦畔を検出したが、本調査が実施される数日前に降った豪雨により、調査場所が水没している状況であり、計測が不可能であった。また、7号トレンチでも畦畔を確認したが、事業者側からその場所は道路を新設する予定がないことがわかり、今回は調査の対象から除外した。

畦畔の遺存状況は概ね良好で、本書中で畦畔については次のように番号を付した。6号トレンチの3本の畦畔を北から南へ№1～№3、9号トレンチの畦畔を№4、10号トレンチの畦畔を№5とした。畦畔は下幅が50㎝～60㎝、水田面からの高さは4㎝～5㎝程度で、断面の形は緩やかな台形を呈している。調査区域が道路予定地部分に限られており、四隅を畦畔で囲まれたといった水田跡を面で検出することはできず、全体の畦畔の広がりについても判明できない。9号トレンチで検出した南北方向に走行する№4畦畔と、6号トレンチで検出した東西方向に走行する№1畦畔が交差するのではないかと想定されるが、はっきりとしたことは調査区外であり不明である。試掘調査の段階で確認した3号トレンチの2本の畦畔についても、東西方向に交差する畦畔の存在が考えられるが、3号トレンチに近い位置で掘削を入れた6号トレンチ北側からはそれに対応するような東西方向に走行する畦畔は検出されなかった。

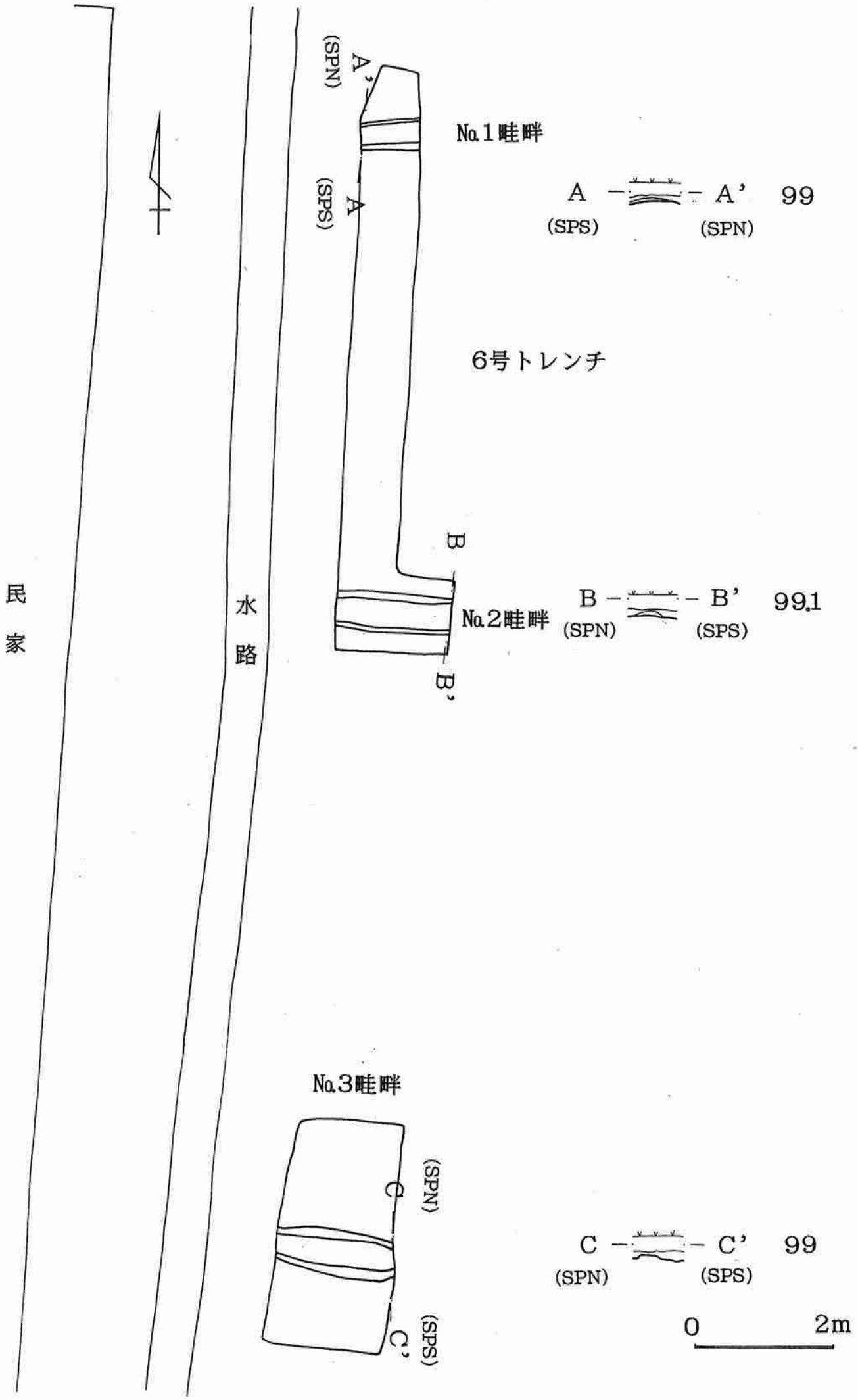
周辺部に関しては、古代の土地区画制度である「条里制」の残る地域とされている。現在も条里制の一町（108m）ごとの区割りが残っており、道路あるいは水路として利用されている。今回の調査に関しては、条理水田の指標ともいうべき大畦畔（坪境畦畔）とその交点（坪交点、条理交点）は調査区が道路範囲ということもあり検出されなかった。

本遺跡から約300m南西、400m南西には平安時代の水田跡が発見された五反田遺跡・五反田Ⅱ遺跡が存在する。そこで確認された水田跡は東西に長軸を持つ横長方形を基本とした、前橋市域で過去に確認された平安時代の水田跡にしては比較的小規模なもの（五反田Ⅱ遺跡：1995年）であった。五反田遺跡については、12枚の水田跡が発見されているが、面積的には80㎡～160㎡（五反田遺跡：1987年）と2倍近い差がある水田もあり、水田規格は一定ではない。また、五反田遺跡に近接している村前遺跡については水田面積が250㎡前後となり、これらの遺跡は近接しているにもかかわらず、水田の規格についての共通性はほとんどみられない。

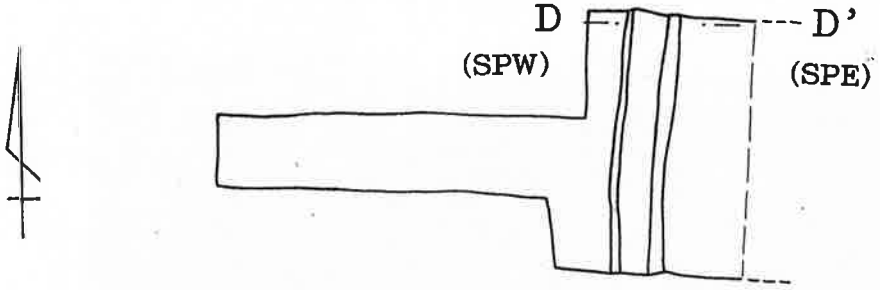
まとめ

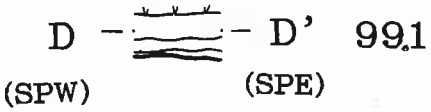
調査の結果、本遺跡からは1108年（天仁元年）の浅間山噴火に伴うＡｓ－Ｂ軽石に覆われて埋没した平安時代末期の水田畦畔を検出した。しかし、調査区域が道路幅のみということもあり、水田跡を面で広げることができず水田畦畔のみの計測にとどまった。そのため、水田の規模が確認できなかったことは残念である。周辺には平安時代の水田跡を検出した遺跡が隣接しているが、水田の規模に統一性がみられないことがこれまでの調査で判明している。また、今回の調査では、古代の土地区画制度の条里制の指標である大畦畔も確認できなかった。しかし、周辺の遺跡から確認された水田跡には、水田規模には統一性はないが、東西・南北に走行する畦畔が互いに直交する共通性は確認されているので、本遺跡に関しても、条里制に起因する一定の規格を持っているのではないかと推定される。

今回の調査では解明するのに不十分であった数点の要素については、今後の周辺地域における調査により解明されることを期待したい。

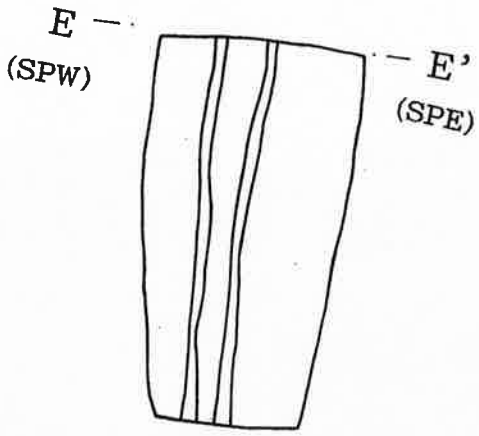

民家
水路
A'
(SPN)
A
(SPS)
No.1畦畔
A
(SPS)
A'
(SPN)
99
6号トレンチ
B
No.2畦畔
B'
B
(SPN)
B'
(SPS)
99.1
No.3畦畔
C
(SPN)
C'
(SPS)
C
(SPN)
C'
(SPS)
99
0
2m

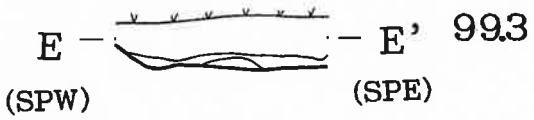
9号トレンチ





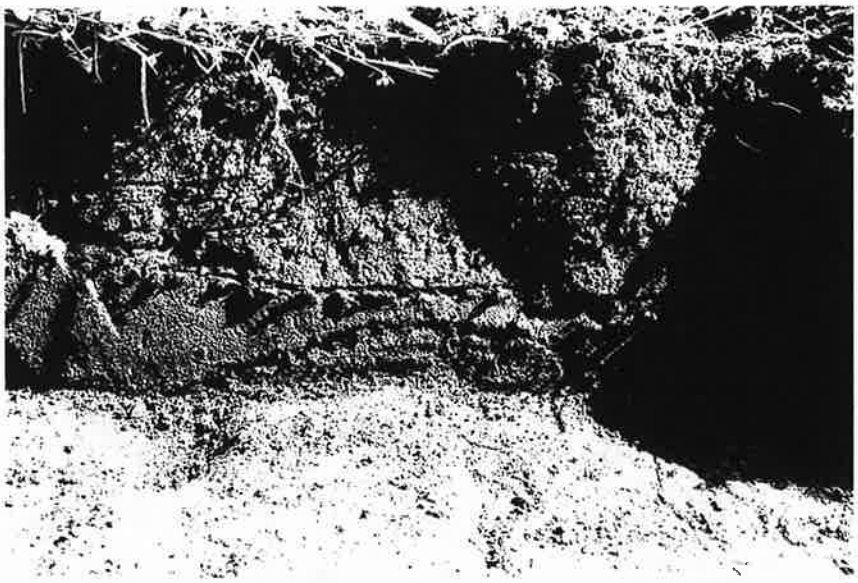
10号トレンチ



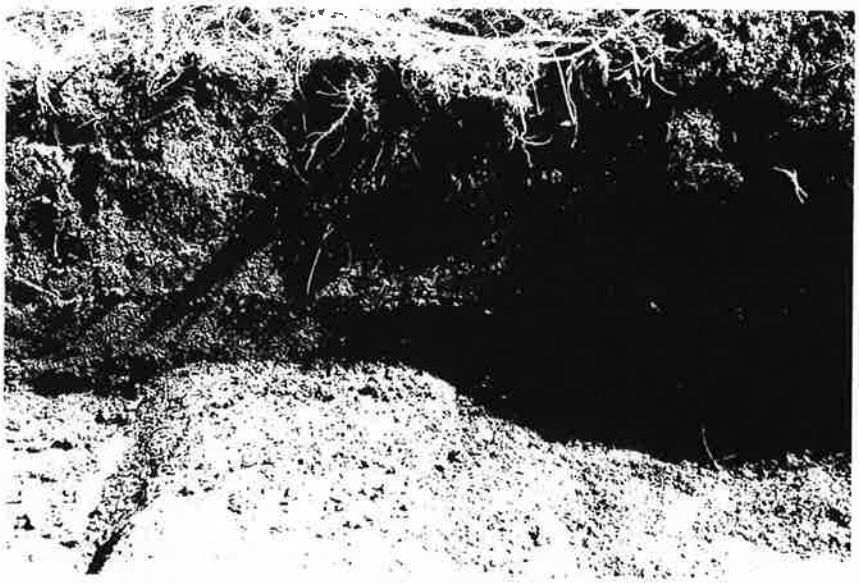


0 2m

図　版



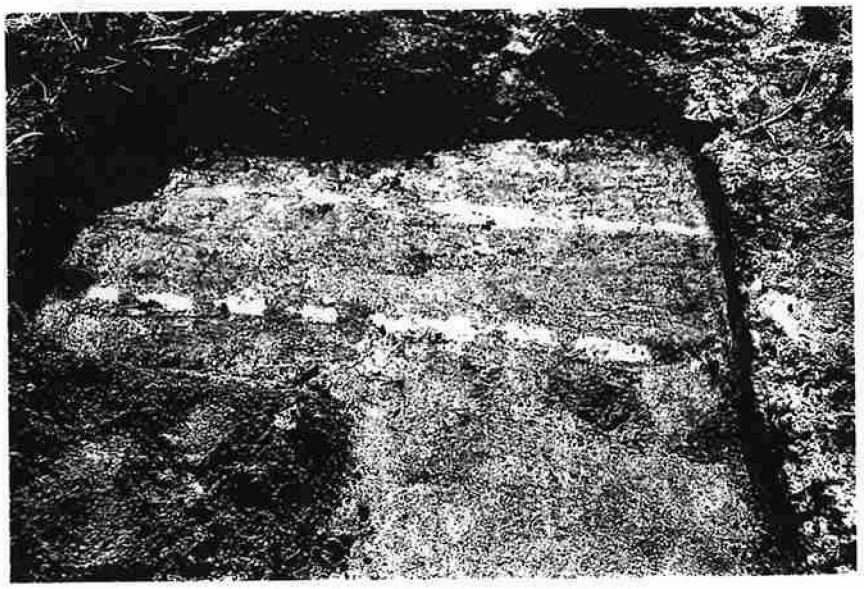
No.2畦畔セクション



No.3畦畔セクション

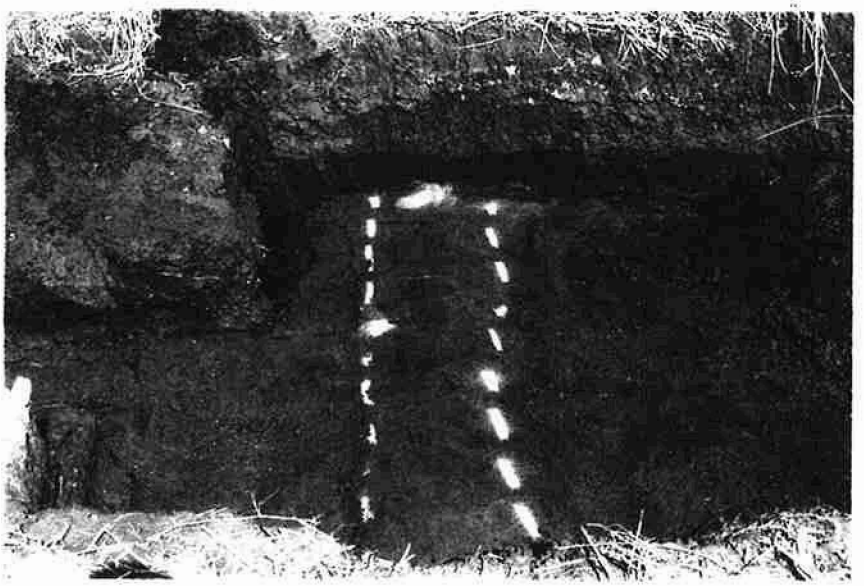
図　版

6トレンチ No.1畦畔



6トレンチ No.2畦畔

図 版



9トレンチ 畦畔

10トレンチ 畦畔

抄　録

フリガナ	ハコダカミサカイイセキ
書名	箱田上境遺跡
副書名	宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	高山　剛　　鈴木雅浩
編集機関	前橋市教育委員会
編集機関所在地	〒371-0018　群馬県前橋市三俣町二丁目１０－２
発行年月日	西暦２００２年３月２０日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所在地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡	北緯	東経			
ﾊｺﾀﾞｶﾐｻｶｲｲｾｷ 箱田上境遺跡	ﾏｴﾊﾞｼｼﾊｺﾀﾞﾏﾁ 前橋市箱田町	10201	13A109			20011006 20011016	486㎡	宅地造成

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
箱田上境遺跡	水田	平安時代	水田畦畔	検出されず
特記事項				

箱田上境遺跡
2002年3月20日発行
発行・編集　前橋市教育委員会
前橋市三俣町二丁目１０－２

文化財保護課